

町内会連合会だより

発行責任者

会長 升 澤 博 也

発行所

〒034-8615 十和田市西十二番町6-1
十和田市町内会連合会

事務局

外 郭 団 体 事 務 室
☎ (51) 6 7 8 3

会長あいさつ



十和田市町内会連合会
会長 升 澤 博 也

明るく住みよい十和田市

昨年度は、コロナ禍や少子高齢化などの影響で単位町内会の活動が中止や縮小など、今まで通りにできていなかった状況にあったと思っています。

このようなことから、今後の町内会の在り方、担い手等の町内会の様々な課題に取り組み、「住み続けたいまちづくり」を目指して頑張っていかなければならないと決意を新たにしております。

また、昨年度から若い世代がどうしたら町内会に加入して、一緒に活動へ参加してくれるのか若い世代の意見を反映させるために「町内会活性

化検討委員会」を結成し、協議をしております。今年度はその成果として、見える形の事業を実施して欲しいと期待しております。

更には、町内会未加入者への加入促進を呼びかけ地域全体の活性化へ結びつけることができるように「十和田市、宅建協会、不動産協会」と協定を締結するための準備を進めております。お互いの役割を決めて、未加入者への対策を講じて参ります。

そして、人口減少は町内会活動においても大きな問題であり、活動が停滞することが懸念され、当連合会としても大きな課題として行政、関係団体の指導をいただき、その対策等について早急に検討していかねばならないと思っています。

今年度も「明るく住みよい十和田市」をつくっていくために、各種事業に取り組んでいきます。皆様方には、一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

令和5年度 定時総会

副会長 上坂 広



今年度は、定例総会をコロナ前と同様に開催できましたことについて、町内会の皆様にもお礼申し上げます。また、長年にわたり単位町内会役員を務めた20名の皆様及び連合会役員を務められ表彰された6名の皆様、大変ご苦勞様でした。今後とも健康にご留意され、ご指導されることを強く望んでおります。

また、当日は多くのご来賓のご出席をいただきました。今年度もご指導賜りますようお願いいたします。

定例総会では議長に西十一番町町内会長 佐々木保信氏を選出し議事に入りました。議案第1号から第4号までの令和4年度事業、収支決算、50周年記念事業収支決算、外郭団体事務室特別会計収支決算について承認されました。

議案第5号から第7号までの事業計画(案)、収支予算(案)、外郭団体事務室特別会計収支予算(案)について原案通りに承認されました。

議案第8号会則の一部改正では、小学校の閉校や統合により小学校区振り分けが変わることで、ブロックの理事数が増えなくなったことを提案し、承認されました。

報告第1号役員報告では、副会長 立崎享一氏の辞任により、新副会長に長根尻町内会長 中野渡隆男氏が理事会にて選出されたことを報告いたしました。

定例総会後には、3年ぶりに懇親会を開催いたしました。参加者からは「久しぶりで嬉しい」「親睦を深めるのも大切だ」などのお声がありました。少しずつコロナ前に戻り交流を深めながら活動して参りたいと思っております。



表彰状受賞のようす



新副会長
中野渡 隆男

部会の動き

総務部会

部会長 太田 薫



目標の実践を目指して

令和5年度の事業がスタートしました。総務部会の重点目標としては、総会や理事会、市との懇談会、市への要望活動、役員研修等々、市町連の運営及び全体総合調整の案件などを着実に、より良い内容で進めていきたいと思っております。

また、市民一人ひとりが住み続けたい十和田市づくりのために、総務部会員一同が力を合わせて、下記のとおり取り組んで参ります。

1. 町内会要望の見直しと改善
2. 市への要望活動や意見交換活動の見直しと改善
3. 町連だよりの充実度を高め、見やすい紙面構成を図る

4. 「会長と語る会」の充実
5. 役員研修と組織の強化を図る
6. 「協同のまちづくり会議」の推進
7. 町内会活性化検討委員会の推進

更なる活動計画としては、町内会運営ガイドブックの発行（4月発行済み）や「ホームページ」の開設に取り組んで参ります。



総務部会

交通安全福祉部会

部会長 舩甚 英文



ヘルメットの着用を！

ヘルメットの着用が4月から努力義務化となりました。安全性が問われますので「安全な製品」のマークが付いている物を着用し、交通事故による被害を軽減するために取り組みましょう。

新入学児等の子どもと高齢者を交通事故から守るため、家庭、学校、園、地域などが一体となって、啓発や交通安全教育活動の普及に努めます。

1. 「安全運転5則」の徹底
2. 新入学児童への交通安全指導
3. 信号機のない横断歩道における歩行者優先についての呼びかけ
4. 交通安全のぼり旗の増強
5. 青少年健全育成推進活動の推進
6. 市セーフコミュニティ領域別対策部会（交通事故予防）への参加

7. 他団体との交通安全運動の協働
8. 他団体との社会福祉の連携

また、嬉しいお知らせがあります。信号のない横断歩道を歩行者が横断しようとする際、車が一時停止する割合が、青森県は全国ワースト3位から全国7位と上位に入りました。

市民の皆様を交通事故から守るため今年度も事業へ取り組んで参ります。



春の交通安全総決起大会

防災安全部会

部会長 土嶺 俊夫



防災訓練

5月17日に第1回部会が行われ15名が参加しました。案件は今年度の取り組みについてを協議をし、特に地域密着型防災訓練は、地元の方の意見を聞きながら、実のある訓練にしたいと思っております。

また、8月25日(金)県総合防災訓練があるので、部会員は積極的に参加し協力したいと思います。

1. 県総合防災訓練への参加
2. 令和5年度地域密着型防災訓練を実施
令和5年9月17日(日) 藤島町内会
3. 自主防災会設立への協力
4. 救急救命法の講習会

5. 市セーフコミュニティ領域別対策部会
(防災対策)への参加

「防災」とは、災害による被害を未然に防ぐために行われる取り組み、「減災」とは災害時において発生し得る被害を最小化するための取り組みのことを言います。地震や風水害といった自然災害はいつ起こるか分かりません。日頃から防災意識を高め、きちんと対策をすることで災害による被害を減らすことを目的として事業を進めて参ります。



防災安全部会

環境衛生部会 部会長 成田 誠

より充実した活動を



昨年度、ごみ収集箱の新設・修繕を希望しながら見送りとなった町内会が多数ありました。今年度は、事前にアンケートを取り、その結果予算を多くいただくことができました。現地調査もしますが、概ね要望に添えるのではと考えております。

昨年からはじめた「まちなか美化活動」は、昨年の反省点を踏まえて実施したいと思います。商店街や飲食業協会など様々な団体に協力依頼をし、市民の方も一緒に参加していただき「きれいな街にしましょう！」

花いっぱい運動では、5月27日にマリーゴールド(オレンジ・イエロー)約15,000本・サルビア(赤)約9,000本の花苗を無償配布いたしました。配布後のアンケート調査をし、花苗・花種の選定

していきたいと考えております。

緑と花にあふれたまちづくりと地域の環境美化を促進し、市民の生活環境の向上に役立てることを目的として、まちなか美化の強化とごみ問題に関心を持っていただき、ごみの減量・リサイクルへの意識の輪がさらに広がるよう事業に取り組んで参ります。



環境衛生部会

高清水小学校が無くなる、高清水の現状と展望

高清水駅前町内会 会長 佐藤 幸一

教育委員会は、令和7年3月に生徒の増加が望めないとして閉校が決定となりました。

当校は藤坂小学校冬期分校として1911年に創立され、112年目となります。十和田市立高清水小学校として独立し70周年目を迎える校舎は、1969年に鉄筋コンクリート防音校舎として新築されたものです。

この閉校について地域の活性化をテーマとした



「かたるべ会」で話されました。軍馬補充部時代の原野風景や戦後の稲生川改修に伴う農地等が古写真や空中写

真で示され、また、農地は戦後の農地解放で2～3haになり今日に至っています。それでも若者が農家を継げず、農業者は高齢化で営農が困難になっています。1969年に三本木農業高校が移転し、学校周辺は宅地として分譲されました。

しかし、その宅地は一部の入植で多くが空地です。交通環境は、上北自動車道がみちのく有料道路まで延伸し、高清水から約20分程度でみちのく有料道路に到達でき、高速道、新幹線、空港、そして港へ十和田市の中でもとても良い地域であると思

います。上北道インターより市へのアクセス道周辺は、現在、農道と市道であるが県道に格上げ整備すると、十和田市の副都心となり得ると考えられます。

このようなことから高清水小学校の復活も夢物語でないと思っています。



5. 市セーフコミュニティ領域別対策部会
(防災対策)への参加

「防災」とは、災害による被害を未然に防ぐために行われる取り組み、「減災」とは災害時において発生し得る被害を最小化するための取り組みのことを言います。地震や風水害といった自然災害はいつ起こるか分かりません。日頃から防災意識を高め、きちんと対策をすることで災害による被害を減らすことを目的として事業を進めて参ります。



防災安全部会

環境衛生部会

部会長 成田 誠

より充実した活動を



昨年度、ごみ収集箱の新設・修繕を希望しながら見送りとなった町内会が多数ありました。今年度は、事前にアンケートを取り、その結果予算を多くいただくことができました。現地調査もしますが、概ね要望に添えるのではと考えております。

昨年からはじめた「まちなか美化活動」は、昨年の反省点を踏まえて実施したいと思います。商店街や飲食業協会など様々な団体に協力依頼をし、市民の方も一緒に参加していただき「きれいな街にしましょう！」

花いっぱい運動では、5月27日にマリーゴールド(オレンジ・イエロー)約15,000本・サルビア(赤)約9,000本の花苗を無償配布いたしました。配布後のアンケート調査をし、花苗・花種の選定

していきたいと考えております。

緑と花にあふれたまちづくりと地域の環境美化を促進し、市民の生活環境の向上に役立てることを目的として、まちなか美化の強化とごみ問題に関心を持っていただき、ごみの減量・リサイクルへの意識の輪がさらに広がるよう事業に取り組んで参ります。



環境衛生部会

**高清水小学校が無くなる、
高清水の現状と展望**

高清水駅前町内会 会長 佐藤 幸一

教育委員会は、令和7年3月に生徒の増加が望めないとして閉校が決定となりました。

当校は藤坂小学校冬期分校として1911年に創立され、112年目となります。十和田市立高清水小学校として独立し70周年目を迎える校舎は、1969年に鉄筋コンクリート防音校舎として新築されたものです。

この閉校について地域の活性化をテーマとした「かたるべ会」で話されました。軍馬補充部時代の原野風景や戦後の稲生川改修に伴う農地等が古写真や空中写



真で示され、また、農地は戦後の農地解放で2～3haになり今日に至っています。それでも若者が農家を継げず、農業者は高齢化で営農が困難になっています。1969年に三本木農業高校が移転し、学校周辺は宅地として分譲されました。



しかし、その宅地は一部の入植で多くが空地です。交通環境は、上北自動車道がみちのく有料道路まで延伸し、高清水から約20分程度でみちのく有料道路に到達でき、高速道、新幹線、空港、そして港へ十和田市の中でもとても良い地域であると思います。上北道インターより市へのアクセス道周辺は、現在、農道と市道であるが県道に格上げ整備すると、十和田市の副都心となり得ると考えられます。

このようなことから高清水小学校の復活も夢物語でないと思っています。